

※無断引用・転載を禁じます。

財務総合研究所「中国研究会」

トランプ政権第2期の米中経済関係

2026年2月17日

大橋英夫

(専修大学)

本日の報告内容

- 米国第一の通商政策
- トランプ関税の経過
- 先端半導体・レアアース交渉
- 国際貿易フローの変化
- 米中貿易戦争に対する中国の見方
- 「国家安全保障戦略」と米中関係



米国第一の対外経済政策（大統領覚書）

米国第一の貿易政策(1/20)

- 不公正・不均衡な貿易への対処方法⇒商務、財務、通商代表部(USTR)
- 中国との経済・貿易関係
 - 2020年1月の米中通商協議第一段階合意の遵守
 - 1974年通商法301条による中国の不合理的・差別的な政策・慣行の調査
 - 中国との恒久正常貿易関係(PNTR)の再評価
 - 中国における米国の知的財産権の保護

米国第一の投資政策(2/21)

- 同盟国・友好国の対米投資を歓迎
- 敵対国(中国、キューバ、イラン、北朝鮮、ロシア、ベネズエラ・マドゥロ政権)
 - 米国の最先端技術や知的財産の取得・窃取
 - 中国による重要インフラや貴重資源の取得・窃取
 - 軍民融合・軍産複合体(米国市場での資金調達)への警戒

トランプ関税の経過

フェンタニル関税(2~3月)

アルミニウム・鉄鋼製品関税(2~3月)

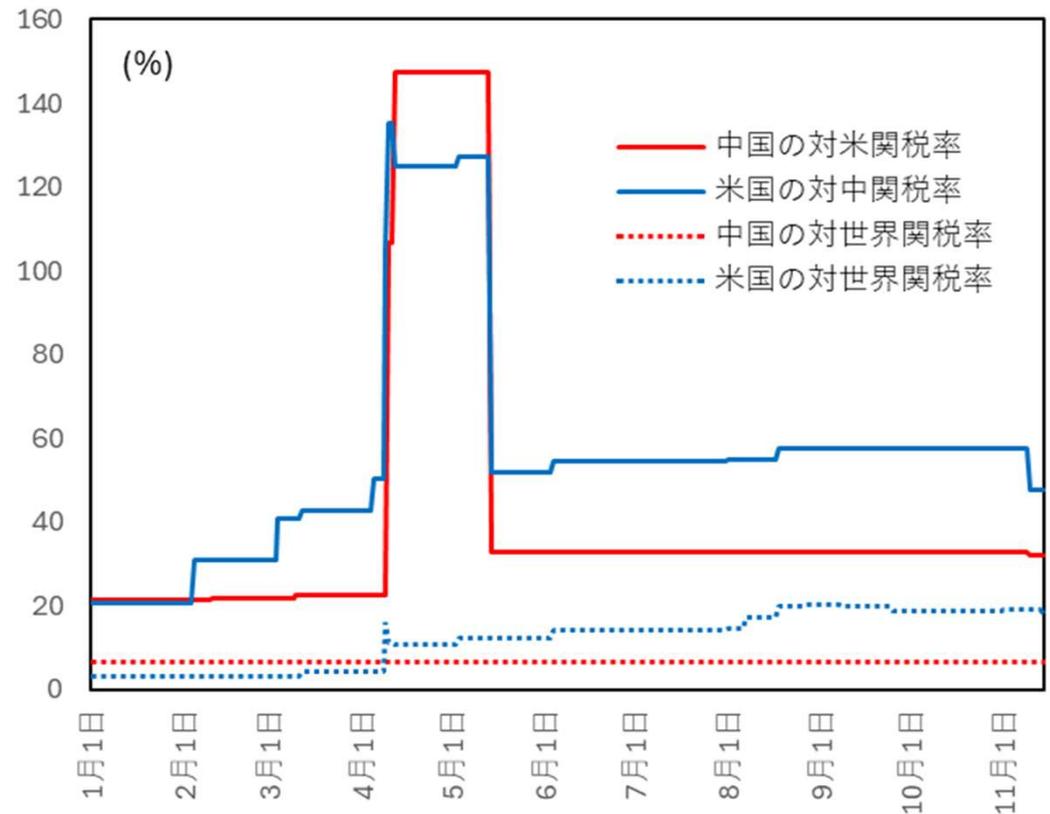
相互関税(4月)

米中閣僚級協議(5~10月)

- ジュネーブ(5/10)
相互関税125%⇒34%、うち24%分
90日間延期(~8/11)=実質10%
- ロンドン(6/9-10)
米中首脳電話会談(6/5)⇒枠組み合意
- ストックホルム(7/28-29)
90日再延期
- マドリード(9/14-15)
TikTok米国事業売却
- クアラルンプール(10/25-26)

米中首脳会談(10月)

米中両国の関税率(2025年)



注：品目（HS6桁）別の関税・貿易データに基づき、米中両国の対世界輸出額で加重平均した関税率。
資料：Chad P. Bown (2025), "US-China Trade War Tariffs: An Up-to-Date Chart," PIIE, November 14, 2025.

米中首脳会談 (2025年10月30日：釜山)

- 9/29 米国商務省安全保障局(BIS)：輸出管理規則(EAR)のエンティティリスト(EL)に掲載される事業者が50%以上所有する事業者もEARの適用対象にすると発表
 - 10/9 中国は対抗措置として、レアアース掘削・精錬、磁石材料の製造、リサイクル関連技術の輸出制限を含む規制強化を発表
 - 10/10 USTRが通商法 301条に基づき入港料を発効させると発表
 - 10/10 中国交通運輸省は米国船に対して「特別港湾料金」の徴収を開始すると発表
- ⇒ 一連の中国の動きに対して、トランプ大統領は対中関税を100%上乘せすると反発

10/25-26 第5回閣僚級協議(クアラルンプール)⇒10/30 米中首脳会談(釜山)合意

- 追加関税の1年間の発動停止
- 直近の輸出規制の1年間の発動停止
- 入港料の1年間の徴収先送り
- 米国のフェンタニル対応追加関税20%⇒10%
- 中国による米国産大豆の購入(2025年5月以後停止)再開を約束

⇒ただし、米国の半導体規制や中国のロシア産エネルギー輸入は合意なし

⇒トランプ関税をめぐる米中貿易戦争は1年間の「休戦」

先端半導体をめぐる攻防

トランプ政権第1期：華為・SMICに対する輸出規制（資金洗浄、イラン支援、EL掲載）

- 「輸出管理改革法」(ECRA)、「2018年外国投資リスク審査現代化法」(FIRRMA)

バイデン政権：“small yard and high fence” = 半導体規制(2022～24年)

- NVIDIA高性能AI半導体、露光装置の輸出ライセンス化
- 中国の半導体企業EL掲載、米国籍技術者の中国企業就業制限

トランプ政権第2期：ディープシーク・ショック(2025年1月)

- EL追加80社(3月25日)
- 先端半導体対中輸出事前許可制(NVIDIA、AMD)、エンドユーザー規制強化(4/19)

釜山合意後の展開

- 商務省産業安全保障局(BIS)、先端AI半導体(NVIDIA/H200・AMD/MI325X)対中輸出を個別審査に緩和 (1/13)
- 先端半導体に対して売上高の25%相当の追加関税賦課
- 中国への輸出量は米国市場向け生産量の50%を超えず、軍事利用は厳禁

レアアースをめぐる攻防

中国によるレアアースの寡占⇒経済的威圧の手段としても利用

- 中国の世界シェア：埋蔵量40%、鉱石生産量68%、希土類金属輸出78% (2023年)

中国による重要鉱物の輸出規制の強化：

- 2023年8月ガリウム、ゲルマニウム、2023年12月黒鉛、2024年9月アンチモン、2025年2月タングステン、テルル、ビスマス、モリブデン、インジウム、2025年4月サマリウム、ガドリニウム、テルビウム、ジスプロシウム、ルテチウム、スカンジウムを管理品目に追加
- 2024年6月「レアアース管理条例」の公布：採掘、製錬・分離、金属への加工、流通、輸出入

米中首脳会談・釜山合意(2025年10月)

- 2024年12月の米国向け輸出の原則禁止措置(ガリウム、ゲルマニウム、アンチモン、超硬質材料関連などの両用品目の米国向け輸出)の2026年11月27日まで暫定停止
- 2025年10月6日に発布した6措置(一部のレアアース品目・関連技術についての中国国外における再輸出規制措置、レアアース関連技術、超硬材料関連品目、レアアース関連設備、一部中重レアアース関連品目、リチウム電池関連品目に対する輸出規制)も暫定停止

半導体とレアアースのディール：希少性+汎用性+中国の「自立自強」先端半導体の自主開発

- 中国のレアアースの輸出規制が優勢か？

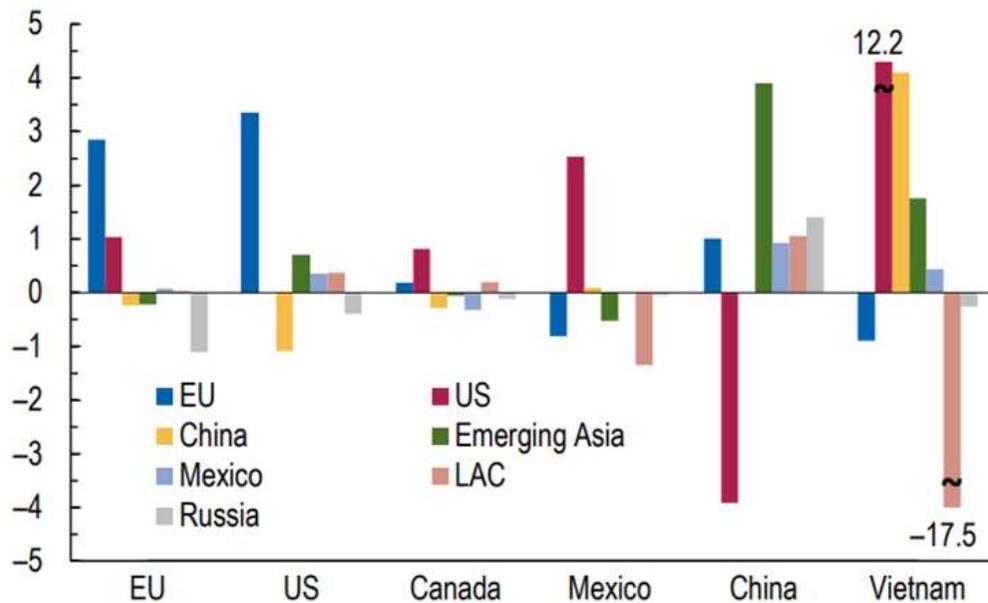
国際貿易フローの変化 (2016/17~2023/24)

- 中国の対米輸出の減少、対アジア輸出の増加
- ベトナムとメキシコの対米輸出の増加
- 米国の対中輸入の急減、対メキシコ・対アジア輸入の増加
- ベトナムとメキシコの対中輸入の増加

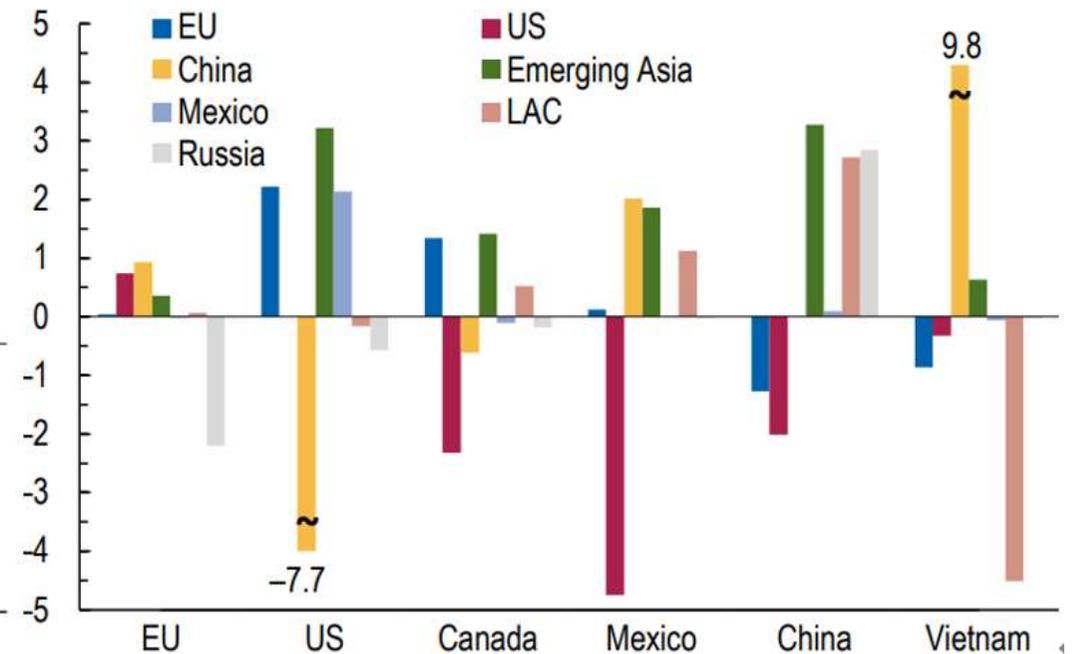


中国の対外貿易の中心は対先進国から対途上国に転換

仕向地別輸出シェアの変化 (%)



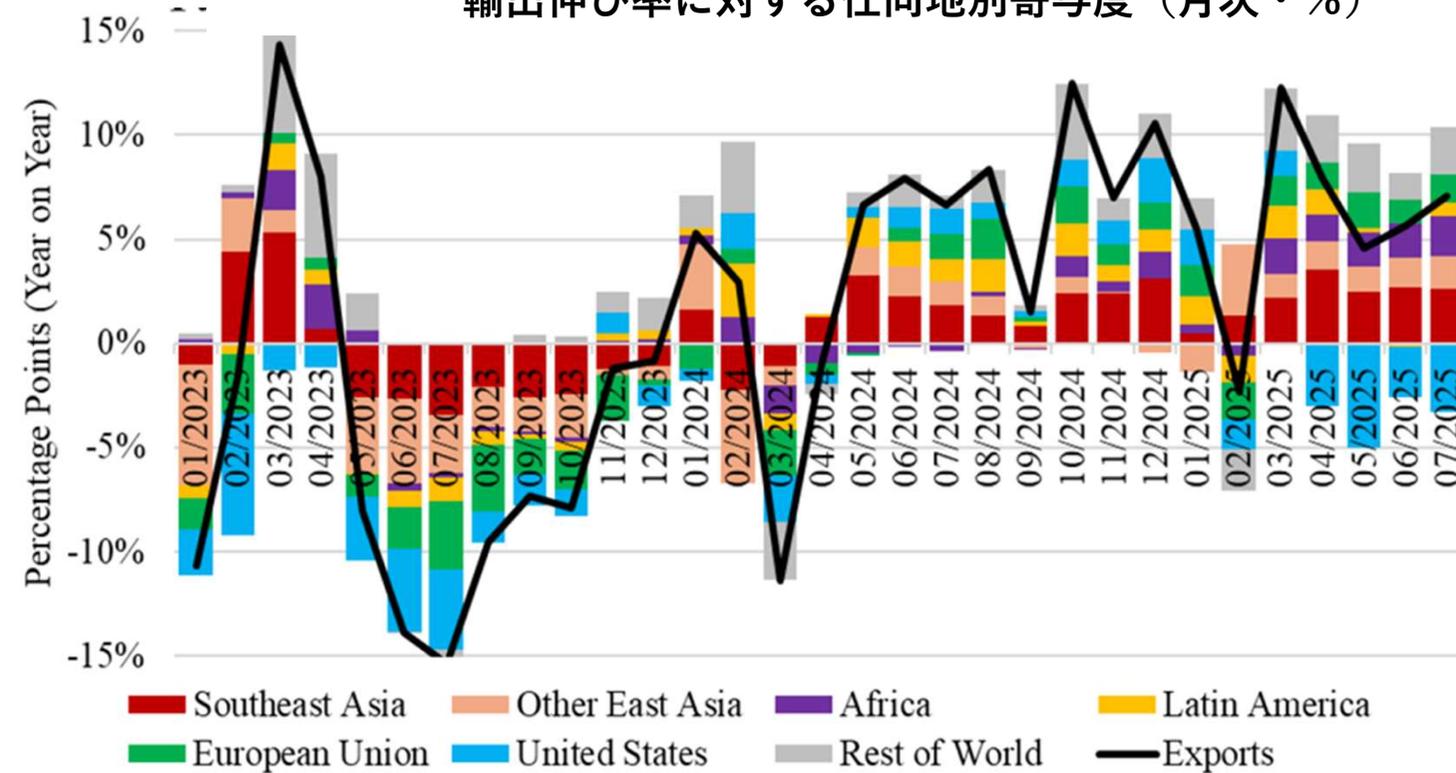
原産地別輸入シェアの変化 (%) ←



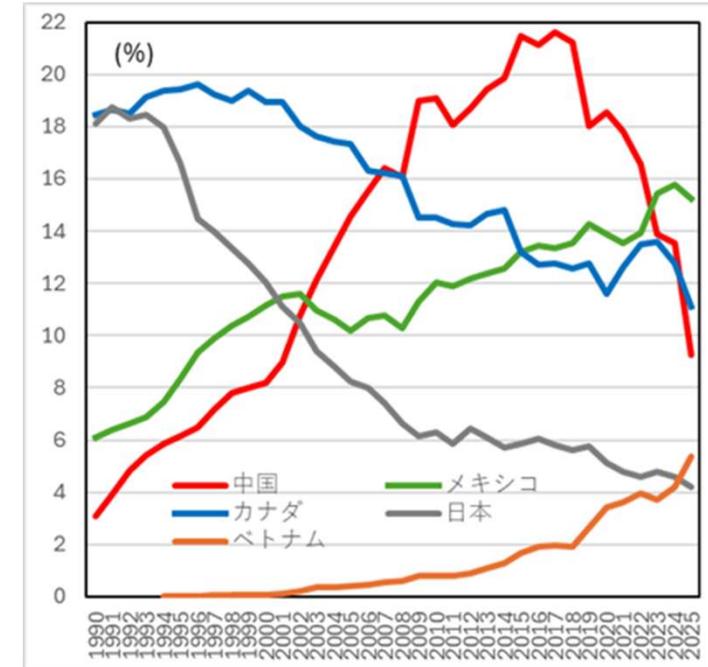
資料：IMF, World Economic Outlook, April 2025.

中国の対米輸出の縮減

輸出伸び率に対する仕向地別寄与度（月次・%）



米国の国別輸入シェア（%）



注：2025年は1～9月累計。
資料：U.S. Trade in Goods by Country, U.S. Census Bureauより作成。

資料：Gerard DiPippo, “ Changing Course in a Storm: China’s Economy in the Trade War,“ China Leadership Monitor, Fall 2025 Issue 85, September 1, 2025.

中国の対米輸出構成の変化

301条追加関税リスト別米国輸入シェアの変化 2017年→2023年 (%)

	中国	USMCA	ASEAN	EU27	インド	その他
リスト1	▲2.4	0.7	0.4	1.5	0.5	▲0.7
リスト2	▲7.1	1.5	2.7	▲0.3	1.9	1.3
リスト3	▲12.0	6.4	3.6	1.4	0.7	0.0
リスト4A	▲10.3	3.5	3.9	1.5	0.2	1.2
リスト1～4A	▲9.2	4.2	2.9	1.3	0.6	0.2

資料：USTR (2024), Four-Year Review Actions of Taken Section 301 Investigation.

米国輸入シェアの変化：2017年→2023年 (%)

	中国	USMCA	ASEAN	EU27	インド	その他
全体	▲6.0	1.0	2.4	0.7	0.3	1.7
アパレル	▲12.7	▲0.8	4.4	1.5	1.2	6.4
音響映像機器	▲14.6	▲1.8	14.4	2.2	0.1	▲0.2
コンピュータ	▲20.8	1.6	7.2	1	0.1	8.8
電気機器	▲9.7	▲8.3	19.9	▲2.0	1.5	▲1.3
半導体・電子機器	▲18.8	0.9	▲2.3	1.5	1.8	17.0
家具	▲27.4	5.8	17.5	2.3	0.7	1.0
雑製品	▲4.1	1.3	3.4	0.9	▲0.4	▲1.1
自動車部品	▲3.9	4.2	0.8	0.4	0.5	▲1.9
一般機械	▲7.8	2.5	2.2	1.7	1.2	0.1
プラスチック製品	▲6.4	2.1	4.7	▲0.3	0.6	▲0.6

中国の品目別対米輸出：2020～24年 (100万ドル)

	電話機	コンピュータ	小口貨物	蓄電池	自動車部品	玩具	照明器具	家具	プラスチック	椅子・座席
2020	46,760	50,839	5,000	2,909	8,693	8,549	9,425	8,095	8,655	8,558
2021	53,281	59,080	7,929	5,442	11,501	12,857	12,394	10,179	10,438	11,149
2022	57,655	54,186	8,233	10,920	11,634	13,162	11,452	9,660	9,571	9,696
2023	49,790	41,070	16,787	14,052	11,071	10,367	9,930	9,131	8,656	8,254
2024	46,559	41,224	21,871	16,367	11,534	10,570	9,484	9,338	8,525	8,300
2024/2020	0.996	0.811	4.374	5.626	1.327	1.236	1.006	1.154	0.985	0.970

注：「小口貨物」はデミニミス・ルール対象品。
資料：Global Trade Atlasより作成。

中国の第三国経由の対米(間接)輸出の増加

➤ 重要ルートの形成

中国→ASEAN→米国、中国→USMCA→米国

コネクタ－経済(connector economies): ベトナム、メキシコ、モロッコ、ポーランド、インドネシア(Bloomberg, November 2, 2023)

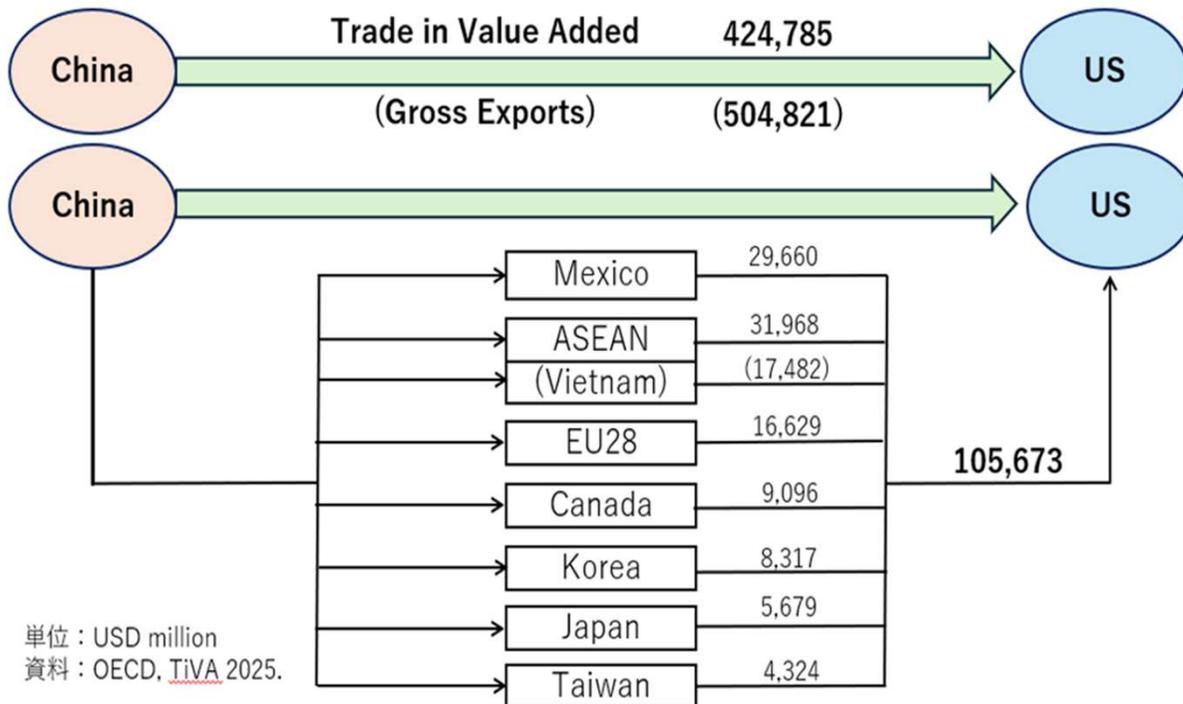
➡ベトナム・メキシコの躍進

➤ 米国の関税・規制を回避するための輸出ルートの変更(「迂回輸出」)

- ×積み替え・瀬取り
- ×原産国の偽装包装・ラベルの変更
- △半製品の簡単な組み立て
- △倉庫での一時保管
- ○加工貿易
- ○外国直接投資 (FDI)

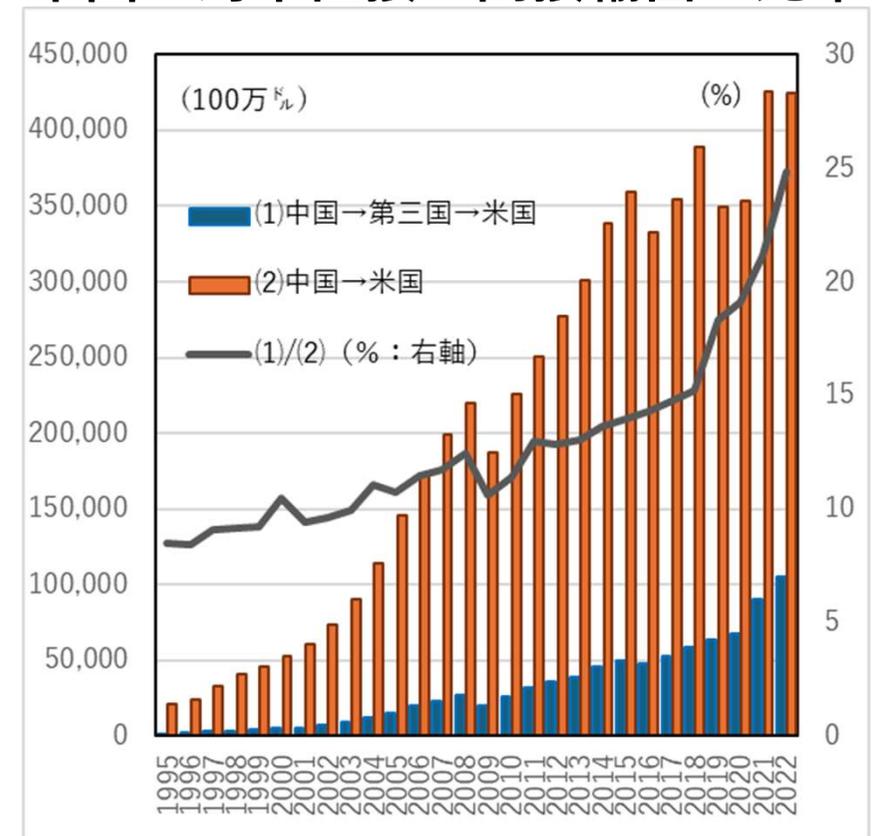
付加価値貿易でみる中国の対米輸出

中国の第三国経由の対米輸出 付加価値ベース(2022年)



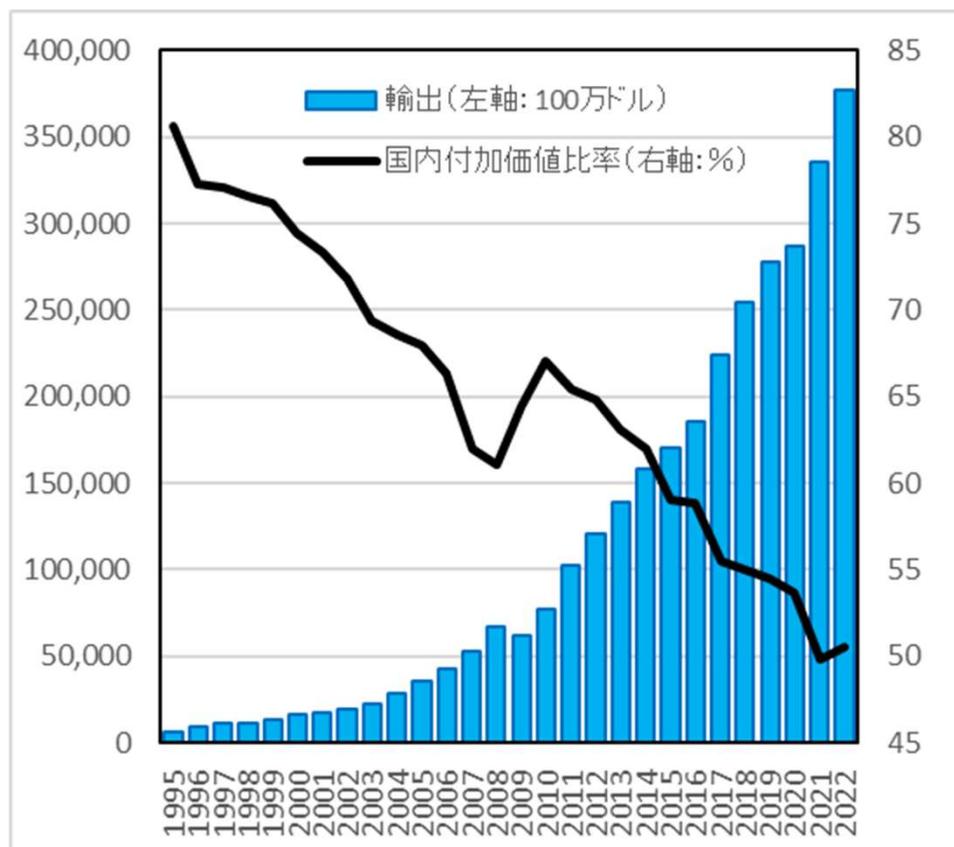
単位：USD million
資料：OECD, TiVA 2025.

中国の対米直接・間接輸出の比率



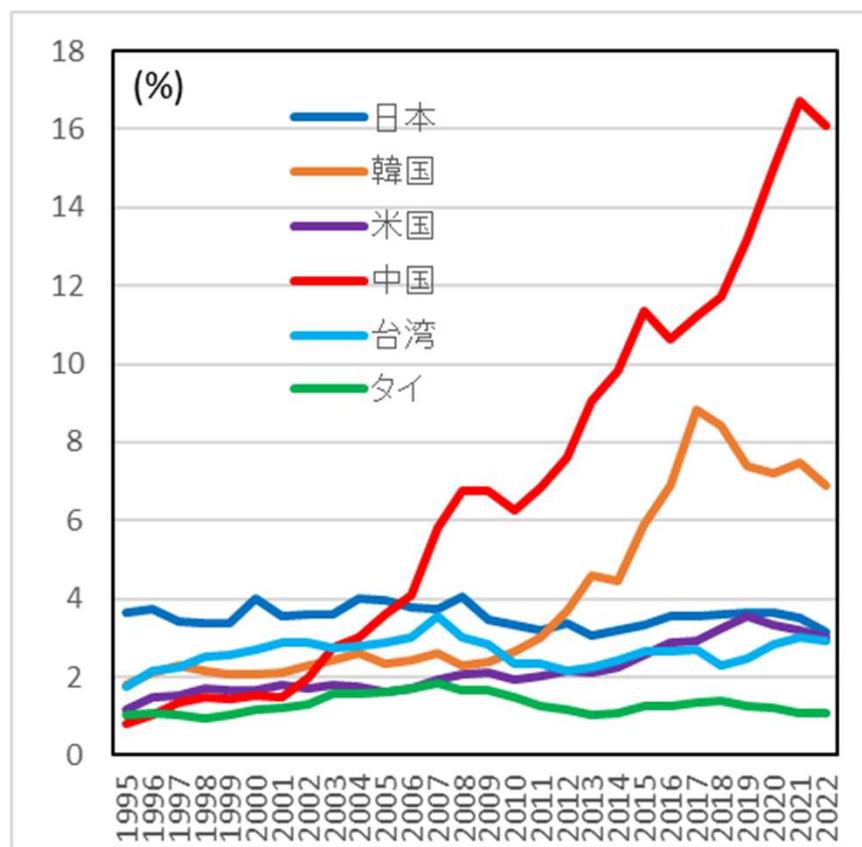
ベトナムの輸出と国内・外国付加価値の推移

ベトナムの輸出と国内付加価値



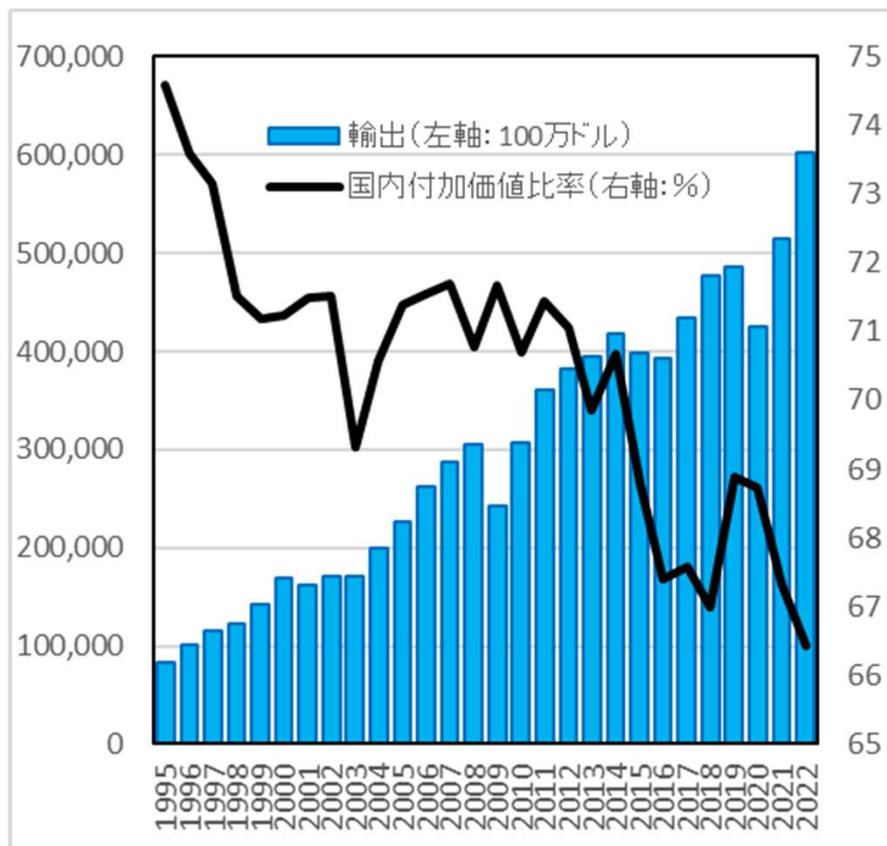
Source: OECD, TiVA 2025.

ベトナムの輸出に占める外国付加価値の比率

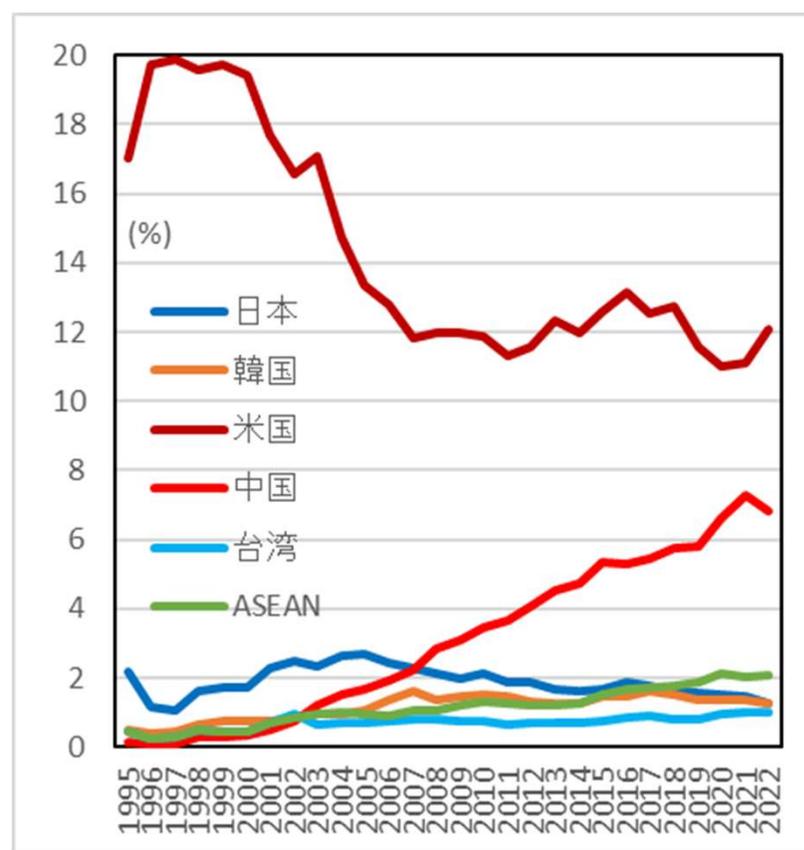


メキシコの輸出と国内・外国付加価値の推移

メキシコの輸出と国内付加価値



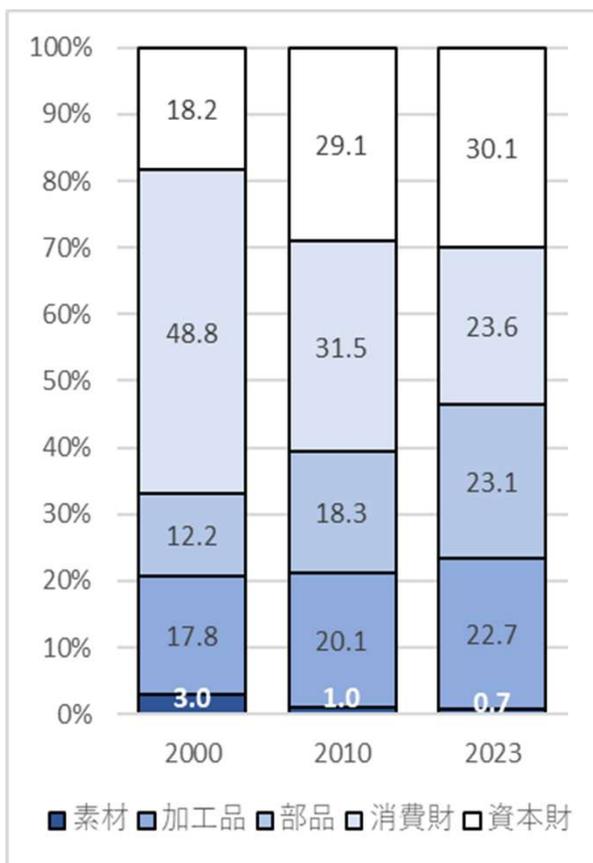
メキシコの輸出に占める外国付加価値の比率



Source: OECD, TiVA 2025.

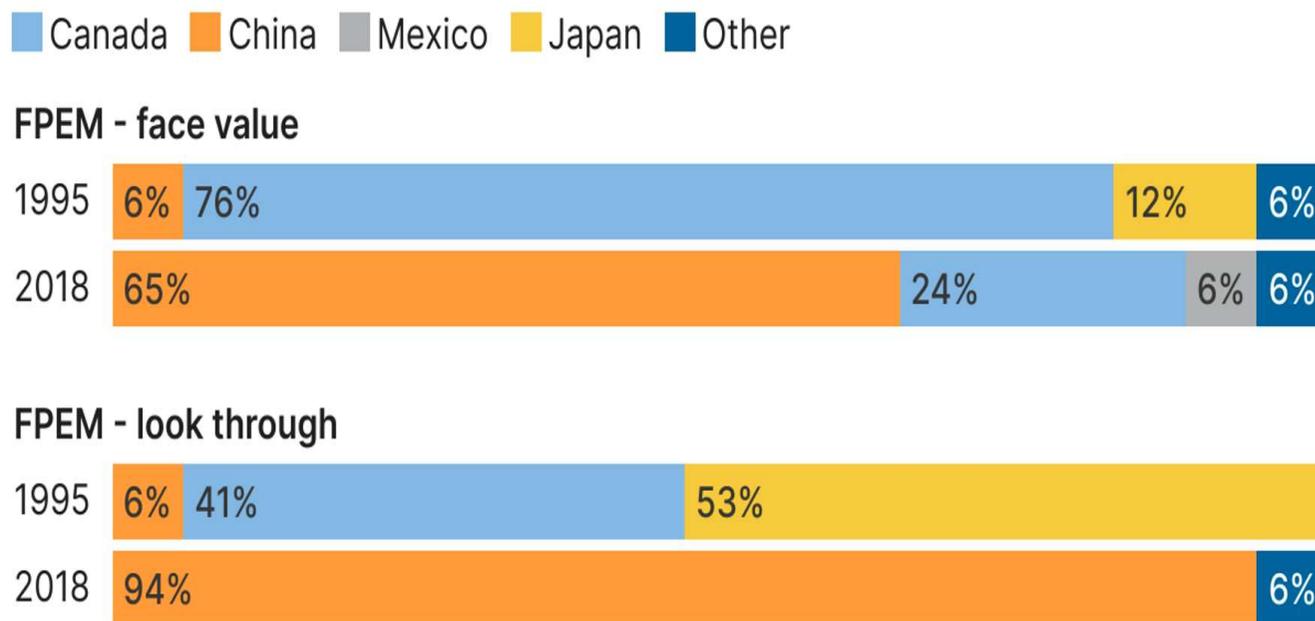
資本財・中間財輸出国としての中国

中国の輸出構成の変化



資料：RIETI-TID2023.

米国製造業に対する投入財の主要供給国

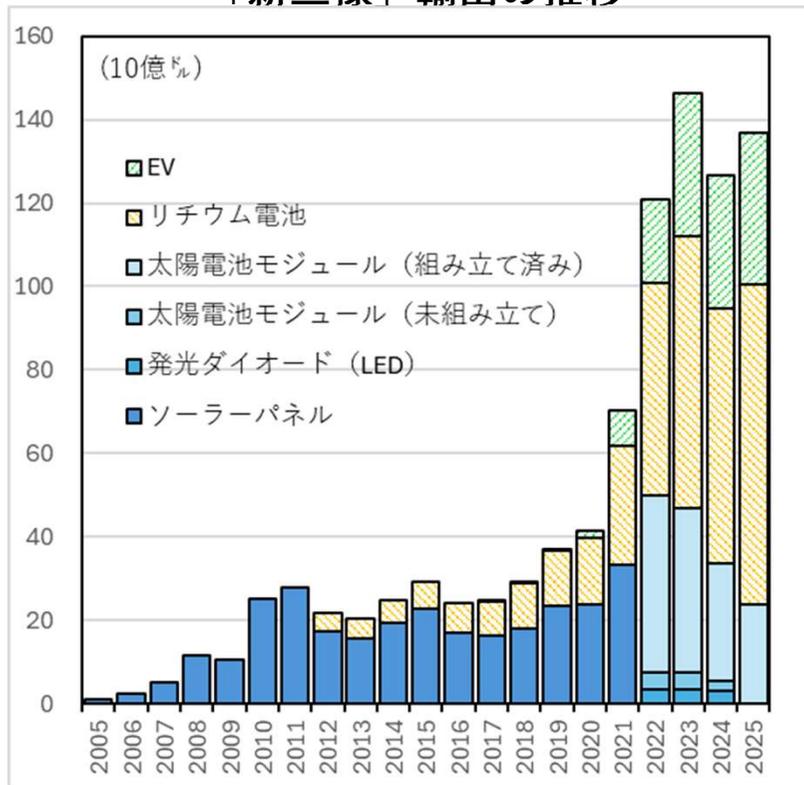


注) FPEM: Foreign Production Exposure: Import Side.
look through: 輸入中間財の直接・間接的な原産地を考慮したケース。

資料：Richard Baldwin, Rebecca Freeman, Angelos Theodorakopoulos, "Hidden Exposure: Measuring US Supply Chain Reliance," Brookings Paper on Economic Activity, Fall 2023 (原資料：OECD, Inter-Country Input-Output Table 2021).

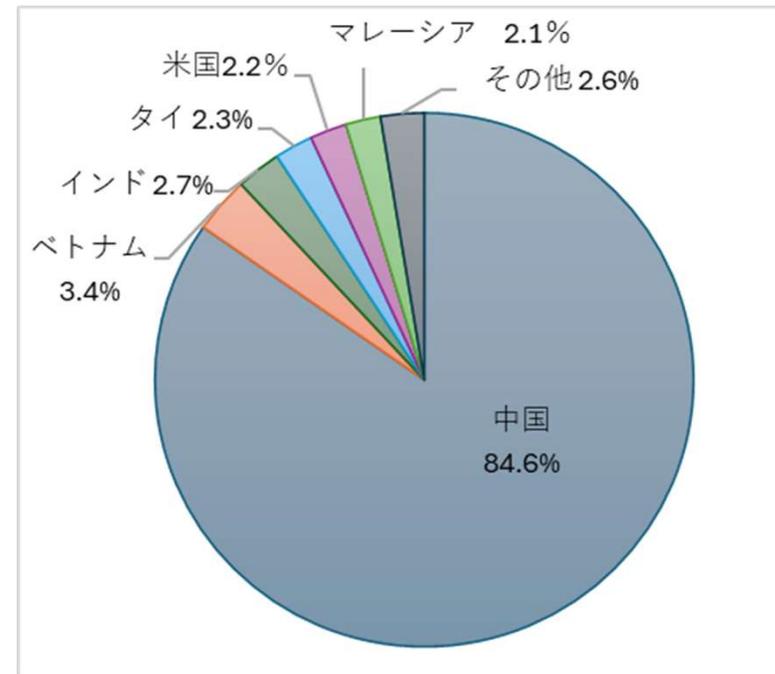
輸出商品の多様化：「新三様」の伸張

「新三様」輸出の推移



注：EV(HS870380)、リチウム電池(充電式：H850750)、太陽電池モジュール(組み立て済み：HS854143)、太陽電池モジュール(未組み立て：HS854142)、発行ダイオード(LED：HS854141)、ソーラーパネル(HS854150)
資料：Global Trade Atlasより作成。

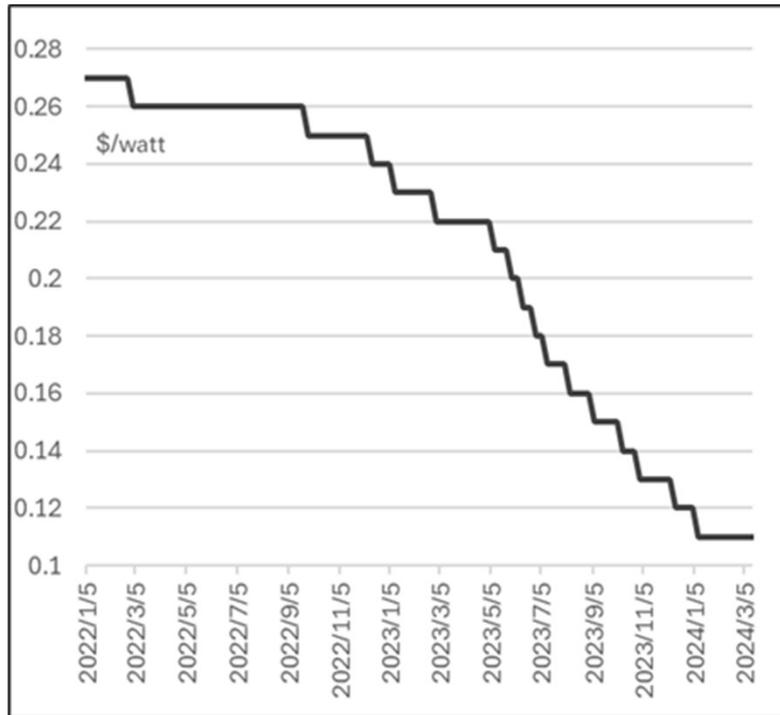
太陽光パネルの国別生産高(2023年)



資料：Statista (2024).

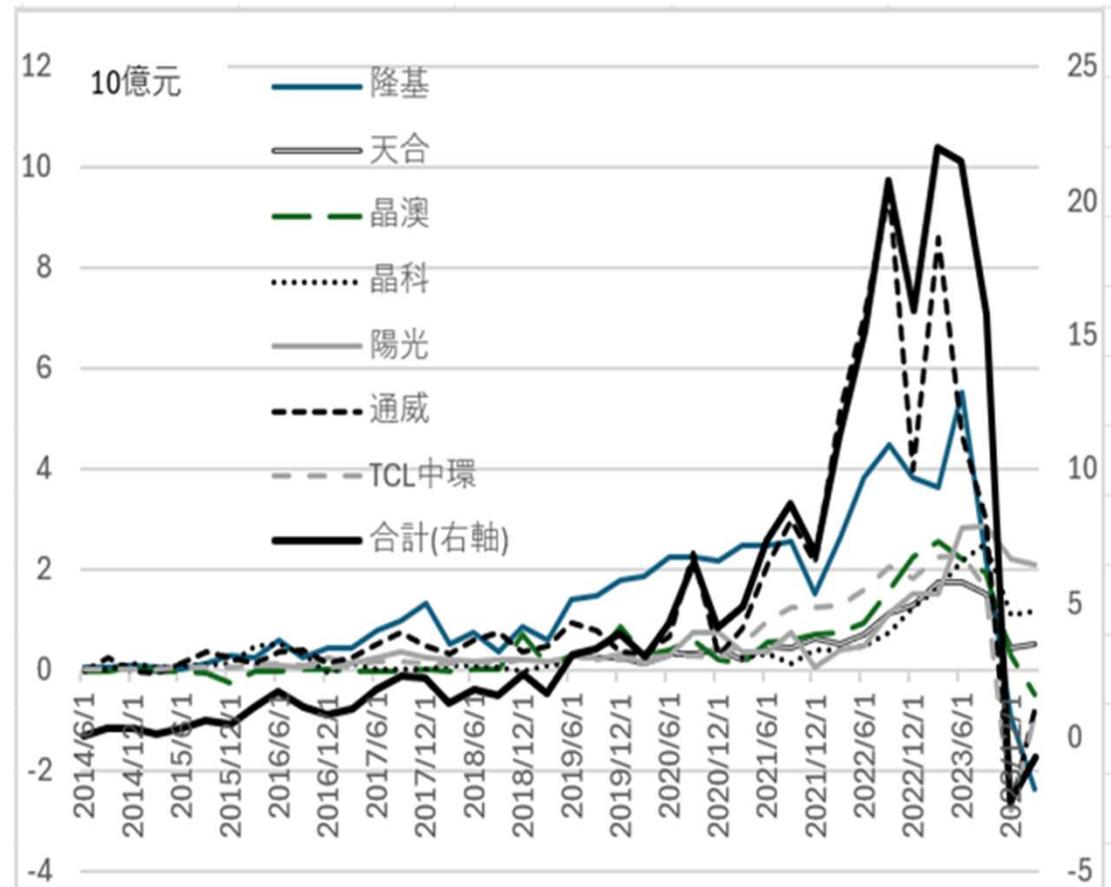
過剰生産製品の値崩れ

太陽光パネル価格の推移



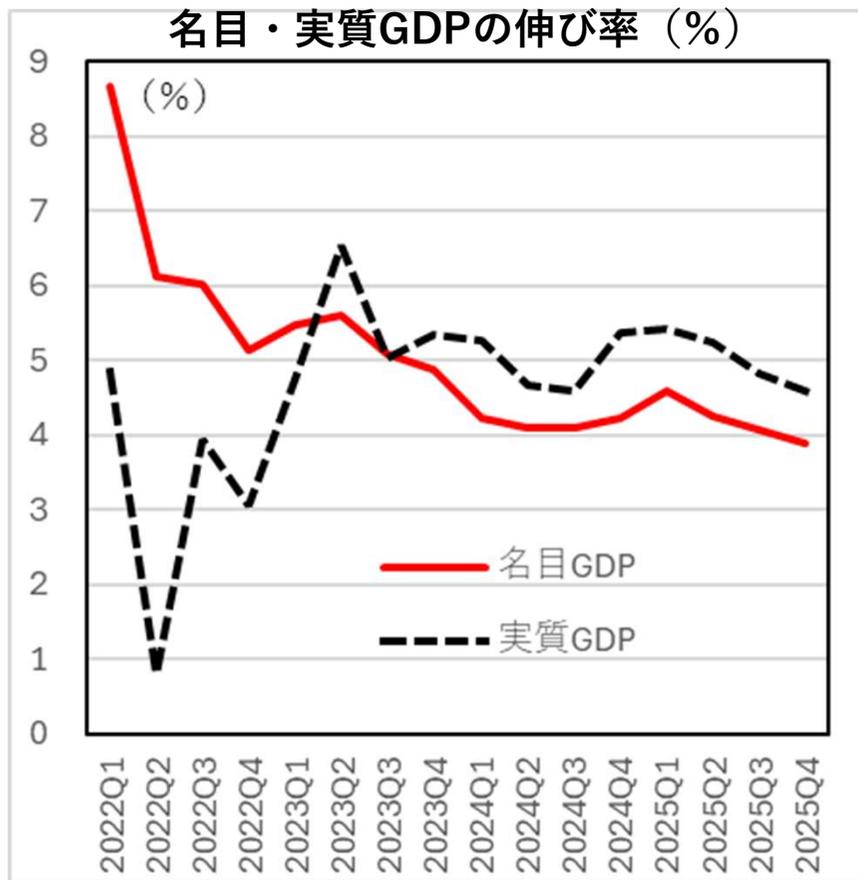
資料：Bloomberg (2024a)より作成。

太陽光発電産業の利潤の推移



資料：Bloomberg (2004b)より作成。

過剰生産と「デフレ輸出」



資料：国家統計局。



資料：中国海関総署。

「米中貿易戦争」に対する中国の見方

「中米経済貿易関係の若干の問題に関する中国の立場」(2025年4月)

中国の認識：米中経済・貿易関係を総合的に捉える(二国間貿易収支に限定せず)

- 米中貿易の相互補完性、サービス貿易の拡大、投資の双方向性

米中通商協議第一段階合意(2020年1月)の履行問題

- 中国は2年間で対米輸入を2000億ドル以上拡大する
- 米国の輸出規制により希望する米国産品を輸入できない
- 中国側の努力：知的財産の保護、農産物・金融サービス市場アクセスの改善、人民元レートの安定、輸入拡大など
- 米国側の合意義務の不履行：外国投資の制限、中国産農産物への輸入規制、中国金融機関に対する差別的待遇、人民元の過小評価の認定、対中輸出規制・制裁などの合意事項の履行義務に反する

米国への批判：単独行動主義・保護主義⇒米中関係と世界経済の発展を阻害

中国の主張：中国こそが多角的な自由貿易体制の擁護者

「国家安全保障戦略」と米中関係

トランプ政権第2期の「国家安全保障戦略」(2025年12月)にみる中国認識

- 第1次トランプ政権：「戦略的競争相手」(strategic competitor)、インド太平洋地域における米国の優位性を排して地域秩序を自国に有利に作り替えようとする修正主義勢力(revisionist power)
- バイデン政権：中国は「もっとも重大な地政学的挑戦」、「国際秩序を再編する意図と能力を併せ持つ唯一の競争相手」
- 第2次トランプ政権：「経済の未来を勝ち取り軍事衝突を阻止する」アジア戦略
⇒米中間のイデオロギー的対立や国際秩序をめぐる競争よりも経済的利益の追求

トランプ訪中(2026年4月)←釜山首脳会談後、米企業の訪中、中国視察団の訪米

- ビッグ・ディールの再現：2017年11月のトランプ訪中(総額2500億ドル：ボーイング機300機購入、シェールガス投資、米国産大豆の大量輸入)の成果は？
- 中国の人権問題、台湾問題の行方は？
- 米中G2の国際秩序、ミドルパワーの結集、グローバルサウスの台頭の第一歩？



Thank you for your attention!

Hideo Ohashi
Professor of Development Economics & East Asian Studies
Senshu University
ohashi@isc.senshu-u.ac.jp